

基本理念  
実現  
～行動のみが真実～

基本方針

価値ある組織の確立  
志を持つ人財の育成  
活気ある地域の可能性を創出

【はじめに】

美馬青年会議所は1981年に設立され、これまで地域のために尽力してこられた諸先輩方のご活躍で45年を迎えることができました。その歴史ある青年会議所の入会は、私にとって人生の岐路とも言える大きな転機となりました。振り返れば自らの浅はかな考えや固定観念を打ち破ってくれたのは青年会議所の三信条の一つである修練であり、当時から活動してきた仲間のおかげで現在も成長し続けていると感じています。このかけがえのない経験に対する感謝の気持ちは青年会議所活動や運動へ真摯に向き合い、全力で取り組むなかでこそ心の奥底から自然と湧き上がってくるものです。この深い感謝は言葉ではなく、社会課題を考えて行動することによってこそ仲間へ還元され、価値のある組織をさらなる高みへと昇華することで、地域や住民により一層の笑顔と活力を生み出します。そして、想いを次世代へつなぐことが今の私に課された使命であると強く感じております。

【価値ある組織の確立】

現在美馬青年会議所のメンバーの中で、青年会議所が地域の発展を通じて自己成長できる機会を提供してくれることや本当の仲間が築ける組織団体だと十分に理解できている人はごくわずかではないでしょうか。入会歴の長いメンバーにおいても、その価値を十分に実感していないことで内発的動機付けが低下し、会員の増加につながっていないと考えます。だからこそ全メンバーが原点に立ち返り、青年会議所が地域から求められていることは何なのか、何のために事業を行うのか、事業をすることでどのような効果が得られ、どのように次世代へつながるのかをわかつ合うことが重要です。その結果、委員会や理事会議の質がさらに高まり、美馬青年会議所が地域から頼られる組織へと成長します。

また修練、奉仕、友情を分かち合った仲間の存在こそが、美馬青年会議所の価値です。この魅力を発信することで、美馬青年会議所をさらに知りたいと想える仲間やともに活動してくれる輪が広がり、価値ある組織の確立ができると考えます。

青年会議所は自己研鑽やリーダーシップを育む場であり、個人としても大きく成長できる貴重な機会を提供してくれます。さらに、多くの仲間とともに学び成長することで理想の自分へと近づけま

す。

#### 【志を持つ人財の育成】

近年、将来への不安や過度な現実思考、都会と比較すれば選択肢や夢、目標につながる出会いの少なさなど様々な要因が挙げられ、将来に対する明確なビジョンを持ていない人が増加傾向になりつつあります。だからこそ自分自身を深く理解し、志を明確にすることで行動に一貫性が生まれ、人生の充実につながると確信しています。

「志」とは単なる目標ではなく、「自分は何のために生きるのか」という深い問いに対する答えであり、そこには多様な人々との出会いがきっかけとなります。この土台が定まることにより自分自身が満たされ、心身ともに幸せであることが周囲に対しても前向きな思考となり伝播していきます。そこで美馬青年会議所がハブとなり、ビジョンを描こうとしている人たちが自由に意見交換し、互いに刺激し合えるような場を創出し、人財の育成へとつなげます。

#### 【活気ある地域の可能性を創出】

美馬市・つるぎ町には、剣山やうだつの町並み、にし阿波の傾斜地農耕システムなど、誇るべき地域資源が数多く存在します。しかし、これらの地域資源に携わっているのは高齢者が多く、情報や発想、資金、人財の不足といった課題から、若い世代の関わりが十分ではないのが現状です。このままでは、我々の育った地域は衰退し、いずれは消滅してしまう可能性があります。

この貴重な地域資源を未来へ引き継ぐためには、若い世代の力が必要です。全国には同じような課題を抱える地域が数多くありますが、そのなかには過疎化が進み、観光客の増加や移住促進、雇用創出を実現している地域もあります。まずは美馬青年会議所が地域資源の付加価値化や異分野との掛け合わせ、AI活用などを創造し、地域住民や地域企業、組織団体が「このまちおこしに関わり続けたい」と思える継続的な事業を創出します。この事業が実現することにより、新しいモデル事業が自発的に立ち上がるという好循環となり、我々の地域が、「みんなで創りあげた場所」になることで活気ある地域の可能性を創出します。

#### 【おわりに】

自分は入会して10年になりますが、今日に至るまでの自分の行動に未練もあります。しかし、後悔は一切ありません。なぜなら毎日仲間とともに最善を尽くし、組織として地域の課題を考え、行動し続けて時間を使ってきたからです。時間は誰にとっても有限であり、それはすなわち「命を使っている」ことに他なりません。青年会議所の活動や運動に命を使い、メンバーと本気でぶつかり、ともに汗をかいて事業を行うことにより達成感が生まれ、苦楽をともに過ごしたメンバーだからこそ芽生えた感情は、かけがえのない仲間を生み出しました。この経験は考え方や行動を前向きに変え、人生の充実感を高めてくれます。

今日という日を人生最後の日だと思い、本気で人生をともに謳歌しましょう。